

各 位

会社名：東京瓦斯株式会社
 代表者名：代表取締役社長 内田 高史
 (コード：9531 東証・名証第1部)
 問合せ先：総務部総務グループマネージャー 福尾知永
 (T E L. : (03) - 5400 - 3894)

**米国ルイジアナ州における新たなガス田の権益の取得に伴う
 持分法適用関連会社（キャッスルトン・リソースズ社）の連結子会社化について**

当社は、米国ルイジアナ州における新たなガス田の権益の取得に伴い、100%出資子会社東京ガスアメリカ社（社長：栗本 一哉）が出資する米国テキサス州のガス開発・生産事業会社キャッスルトン・リソースズ社（以下「CR社」）を子会社化することを決定しましたので下記のとおりお知らせします。

1. 理由

CR社が米国ルイジアナ州のガス田の権益を取得するにあたり、同社が実施する増資を引き受け、出資比率を46%から70%超に引き上げ子会社化するものです。当社が、米国シェールガス事業のオペレータを子会社化することは初めてとなります。

2. 子会社化する会社（増資前）の概要

(1) 名称	Castleton Resources LLC	
(2) 所在地	アメリカ合衆国 テキサス州 ヒューストン	
(3) 代表者の役職・氏名	クレイグ・ジャーチョウ	
(4) 事業内容	テキサス州およびルイジアナ州におけるヘインズビル層・コットンバレー層他のガス開発・生産事業	
(5) 資本金	約650億円	
(6) 設立年月日	2017年4月17日	
(7) 大株主及び持株比率	CCI US アセット・ホールディングズ社 (CCI社の100%子会社) : 54% TG イースト・テキサス・リソースズ社 (東京ガスアメリカ社の100%子会社) : 46%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社46%
	人的関係	東京ガスグループ社員が取締役に2名、その他出向あり
	取引関係	該当なし

※CR社の子会社化に伴い、CR社傘下の会社 (CCI Oil and Gas II LLC/Castleton Commodities Upstream II LLC/Castleton Resources Management Holdings LLC/Castleton Resources Management Services LLC/CCI Gulf Coast Upstream LLC/CCI East Texas Upstream LLC/Sabine Valley Pipeline LLC/Castleton NLA LLC/Sabine Valley Holdings LLC/Castleton TVL LLC) も子会社化いたします (「所在地」「事業内容」等は、CR社と同様)。

※「経営成績・財政状態」「取得株式数・取得価額」については、CR社との秘密保持契約により公表を控えさせていただきます。

3. 今後の見通し

CR社の子会社化の完了は、8月14日を予定しています。また、子会社化に伴い、CR社の社名を2021年3月下旬までに“TG Natural Resources LLC”に改称いたします。

今回の権益取得により、CR社が保有するガスおよび天然ガス液*の生産量は約296百万立方フィート/日 (8百万m³/日、ガス相当量) から約1.6倍の約473百万立方フィート/日 (13百万m³/日、ガス相当量) になります。なお、本件による当期の連結業績に与える影響は軽微である見込みです。

当社グループは、グループ経営ビジョン「Compass 2030」において、海外展開を通じて海外における利益を2030年までに3倍規模に拡大することを掲げており、北米での事業基盤の拡大に向けて投資を継続してまいります。

*:天然ガス液(Natural Gas Liquids)の訳語。天然ガスから分離・回収したコンデンセートなどの液体炭化水素。

2020年7月29日

米国ルイジアナ州における新たなガス田の権益の取得と キャッスルトン・リソースズ社の子会社化について

東京ガス株式会社
東京ガスアメリカ社

東京ガス株式会社(社長:内田 高史)100%出資子会社の東京ガスアメリカ社(社長:栗本 一哉)は、このたび、出資する米国テキサス州のガス開発・生産事業会社キャッスルトン・リソースズ社(以下「CR^{*1}」)が米国ルイジアナ州で新たなガス田権益を取得するにあたり、同社が実施する増資を引き受け、出資比率を46%から70%超に引き上げ子会社化することを決定しました。

なお、東京ガスが、米国シェールガス事業のオペレータを子会社化することは初めてとなり、子会社化の完了は、8月14日を予定しています。また、子会社化にともないCRの社名を2021年3月下旬までに「TG Natural Resources LLC」に改称いたします。

今回の権益取得により、CRが保有するガスおよび天然ガス液^{*2}の生産量は約296百万立方フィート/日(8百万m³/日、ガス相当量)から約1.6倍の約473百万立方フィート/日(13百万m³/日、ガス相当量)になります。

東京ガスグループは、グループ経営ビジョン「Compass 2030」において、海外展開を通じて海外における利益を2030年までに3倍規模に拡大することを掲げており、北米での事業基盤の拡大に向けて投資を継続してまいります。

*1 CRは2017年にキャッスルトン・コモディティズ・インターナショナル社(以下「CCI」)により設立。

*2 天然ガス液(Natural Gas Liquids)の訳語。天然ガスから分離・回収したコンデンセートなどの液体炭化水素。

<東京ガスアメリカ社 社長 栗本 一哉 のコメント>

当社は、2017年5月にCRに参画し、資産を取得しながら着実に成長してきました。このたび同社をグループ企業に迎え喜ばしく思うとともに、重要なパートナーであるCCIと、テキサス州およびルイジアナ州を中心に更なる事業拡大を目指してまいります。

<キャッスルトン・リソースズ社 社長 クレイグ・ジャーチョウのコメント>

今回の権益取得により、東京ガスアメリカ社が主要株主となりました。これにより、私たちは、全米有数の天然ガス事業会社として成長し続ける非常に強固なポジションを得ることができ、大変嬉しく思います。

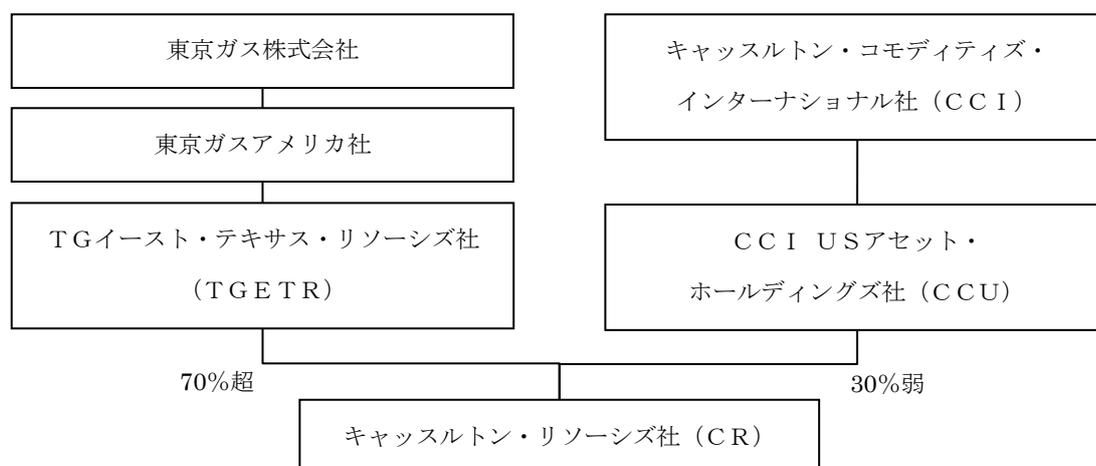
＜キャッスルトン・リソーシズ社の概要(権益取得後)＞

設立年月	2017年4月
本社所在地	米国テキサス州ヒューストン
社長	クレイグ・ジャーチョウ
資本構成	TG イースト・テキサス・リソーシズ社(東京ガスアメリカ社の100%子会社):70%超 CCI US アセット・ホールディングズ(CCIの100%子会社):30%弱
事業概要	テキサス州およびルイジアナ州におけるヘインズビル層・コットンバレー層他のガス開発・生産事業
鉱区面積	約1,250 km ² (約315,400 エーカー、東京23区の約2倍)
生産量	約473百万立方フィート/日(13百万m ³ /日、ガス相当量)

＜東京ガスアメリカ社の概要＞

設立年月	2013年2月
本社所在地	米国テキサス州ヒューストン
社長	栗本 一哉
資本構成	東京ガス 100%
事業内容	北米事業への投資および運営管理

＜出資スキーム図＞



＜今後の主なスケジュール＞

ガス田の権益取得および子会社化の完了	2020年8月14日
社名改称、会社登記	2021年3月下旬まで

以上

＜報道機関からのお問合せ先＞

東京ガス株式会社 広報部 報道グループ 猪原 TEL:03-5400-7675